

PCSA アクションレポート（人事問題研究部会）

平成 31 年 2 月版

第 179 回人事問題研究部会

開催日時 平成 31 年 2 月 8 日（金）
開催場所 PCSA 会議室
出席人数 部員 7 名、合計 7 名
出席者 <リーダー>
志賀 健太郎 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループマネジャー
<サブリーダー>
木内 克宏 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部
<部員>
長岡 敏之 株式会社ダイナム 人事部 人事労務担当
久保 龍也 株式会社合田観光商事 人材開発部 人事企画・労務管理課 次長
峰元 勇作 株式会社ヒカリシステム 市川駅前店 ストアマネジャー
川口 治 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 係長

1) 1 月 新卒採用情報交換会 振り返り

平成 31 年 1 月 11 日に開催した「PCSA 第 11 回新卒採用情報交換会」の振り返りとして、参加者からの事後アンケートの内容のまとめを確認した。参加者から、講演に対しては「実務に役立つ直接的な内容が整理されていて良かった」「就職活動を行うに当たっての注意点を確認する事が出来た」「特に他社事例は参考になる事が多かった」などの感想が寄せられた。グループワーク 情報共有に対しても「採用担当者自身の入社動機を共有する事例は参考になった」「他社様も同様の課題を抱えていて、それをどのように改善していくかという情報交換が大変為になった」などの感想が寄せられた。

2) 退職金制度について

概要：PCSA 従業員の退職金制度についてご意見を伺い、情報を共有したい。

1 月の理事会で PCSA 役員、従業員の退職金制度について検討。結果、人事問題研究部会に従業員の退職金制度検討が指示された。検討内容は、導入の是非、制度内容も含める。

情報を共有した結果、参加各社からは、確定拠出、ポイント制退職金制度、基本給×勤続年数などを採用している事、既に退職金として積み上げている事等が説明された。また、既定にするか内規にするか、かかるコストについて検討すべきなどの意見が出された。

3) 来期活動計画策定

第 18 期の活動計画を策定するに当たり、部員にアンケートを実施、その結果を共有した。部会ではさらに意見が追加され次回以降に取りまとめた内容を審議検討する事となった。

<拡大部会 訪問候補先>

- ・双葉タクシー 大分
- ・今代司酒造 新潟
- ・道頓堀ホテルグループ 大阪

- ・ねぎしフードサービス 東京
- ・コーケン 静岡
- ・堀場製作所 京都
- ・めいほうグループ 愛知
- ・熊本ドライビングスクール 熊本 他

<部会 検討内容>

- ・部門間の人事異動について。
- ・給与の日払い・週払いと離職防止取り組みについて。
- ・同一労働同一賃金の各社取り組みについて。
- ・RPA について勉強したい。
- ・第2回マルハン健康経営勉強会。
- ・従業員の受動喫煙対策について
- ・人件費の削減施策の結果共有
- ・PA の階級制度や役割賃金格差について
- ・正社員の年齢階級別年収
- ・新卒採用の短期中期方針 他

4) 労政時報勉強会「副業」

担当：川口 治 部員 株式会社アメニティーズ

担当社より、「副業」の概要について説明がされた。

世の中、「副業」を認めない企業がほとんどだと思うが、政府は「副業」を勧めようとしている。実際導入するとなると浮かび上がってくる「問題」があると考えている。具体的には、「労働時間通算」が引っかかってくる。しかし、実際問題、シフトの入れ替えでアルバイトさんから「向こうのシフトが入っている」という事で「副業」の有無が分かる。そして、「副業」している従業員に対しての、残業やシフト変更が難しくなる。また、「副業」先によっては、競合、同業他社で働いて情報漏えいなどが起きないようにする為の規定を具体的に細かく定める必要が出てくる。また、これまでに「副業」で話題になっている企業は、パチンコ業界と業務形態が異なりすぎて参考にならない。

次に各社の正社員の副業については、おおむね禁止だが、申告制や許可制などがあった。アルバイトについては問題なしが多く、中には若干の申告制、禁止の企業もあった。各社の対応状況や現状を確認して、政府主導の働き方改革で推されている「副業」だが、企業は、労務管理上の問題で、積極的導入に踏み込めない可能性が高い、と締め括られた。

次回開催

開催日：平成31年3月8日（金）

時間：午前11時～午後3時

開催場所：PCSA 会議室（東京 銀座）

以上